

講演実績 報告書

山形大学附属中学校 報告者 養護教諭 千葉久美子

開催日 令和7年2月6日(木曜日)

対象者 2学年生徒(人数 130人)

講師 山形市立病院済生館 大竹修一 先生

講演タイトル、内容 喫煙防止教室

自由記載欄(感想 や 講演風景の写真など)



本校では例年 2 学年を対象に大竹修一先生をお招きしてご講演いただいています。

毎年、内容が更新され、新たな知見を盛り込んでいただいています。たばこの害についてはもちろん、制度や政治との関連、他の国との比較等のお話もあり、視野を広げて深く考えることが出来る内容でした。

<生徒の学びや感想から>

- これから大人になってく私たちにとても響く内容でした。わたしは健康の道を選んで100歳まで生きます。
- 今回の話を聞き、自分の健康のためにもたばこは吸ってはいけないものだと改めて思いました。また、今までコンビニなどであった電子タバコの広告を見て、電子タバコなら大丈夫なのかなと少し思う時がありましたが吸うとやめられなくなるのが分かりました。
- 喉頭がんになられた方の実際の声(姿)を目の当たりにして、もっと真剣に受け止めたいと思った。そして、手術をして特殊な機械でしか話すことの出来なくなった岡崎さんの訴えに強く胸を打たれた。先生が仰っていた通り、十分な知識を得る機会がなかった人たちにとって「自業自得」「やめないのが悪い」というのは残酷なことだ。
- FCTC という、世界的なタバコ規制がかかっている中で、日本の政府はタバコ規制から目をそらしているという詳しい現状を知ることが出来て、とても良い機会だった。
- 二次喫煙の存在は知っていましたが、三次喫煙の存在については全く知らなかったのもとても良い機会になりました。
- 私も喫煙問題に関するボランティアに参加したいと思いました。

NPO 法人山形県喫煙問題研究会事務局 office.ykk@gmail.com までご報告ください

ホームページで報告させていただきます。ご協力ありがとうございました。NPO 法人山形県喫煙問題研究会